

公立高校入試情報 沖縄県

【数学】

令和6年度沖縄県入試の全体傾向

- 大問は昨年と同じく11問、小問数は40問。
- 大問1・2は基本計算中心の小問集合、大問3は箱ひげ図、大問4は確率、大問5は1次関数の利用、大問6は規則性(数)、大問7は作図、大問8は関数、大問9は合同の証明と円、大問10は三平方の定理と空間図形、大問11は規則性(図形)の問題であった。
- 毎年、全領域から基本的な問題が出題されており、問題数が多い。図形の証明は昨年と同様、全文記述式で出題された。作図、関数と図形の融合、規則性の問題もよく出題されている。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

■ きまりをもとに考える問題の出題

・きまりをもとに考える問題がよく出題されている。問題文をしっかりと読みこなし、そのきまりに従って解く力をつけておく必要がある。

★沖縄県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●		
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例		●	●	
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●		●	●
		三角形	●	●		
		平行四辺形		●	●	
		確率	●	●	●	●
	3年内容	データの比較と箱ひげ図			●	●
		式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理			●	●
		標本調査				●
出題形式別の傾向	大問数		10	10	11	11
	小問数		42	42	41	40
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など			1	1
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)				